

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～22.5℃台を示し、平年並～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の63%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の77%（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の70%（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の3.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり468kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり72kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり509kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり206kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり340kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり363kgの水揚げで、前週の80%（前年並み）。野母地区ではマアジが1日1統当たり12kgの水揚げで、前週の63%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/15～5/18）4日間の沖合イカ釣り船、船凍船は5月12日に27隻が赤イカ漁へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～若狭沖にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 4日延12隻、総計519箱、1航海最高95箱、平均43.3箱、スルメ（25・30・40入）519箱。

（漁業情報サービスセンターより）